

科目名 Course Name		開講年次	開講学期	曜日・時限
中国語Ⅱ Chinese II		1年	後期	別途、時間割参照
単位数	授業の形態	授業の性格		履修上の制限
1単位	演習	選択	(特になし)	中国語を母国語とする学生は履修禁止。 中国語Ⅰを履修した学生。
当該科目の理解を促すために受講しておくことが望まれる科目				
特になし				
同時に履修しておくことが望まれる科目				
中国語Ⅰ				
担当者に関する情報				
氏名	研究室の場所	オフィスアワー		電話番号・メールアドレス
鈴木 愛勇	授業中に指示する	授業中に指示する		授業中に指示します
授業の概要				
中国語を学習する上で最も重要なのは“発音”である。基礎的な文法、語順等の学習に加え、中国語でコミュニケーションをとりながら授業を行う。会話力・表現力を向上させるために、日常のさまざまな場面を想定した会話文を学習する。さらに、中国語Ⅰで学習した内容を踏まえて、より深く中国語の発音、作文について学習する。				
授業の目標				
①中国の一般市民の日常的な会話を理解できるようにする。 ②中国語のネイティブな発音ができるようになる。 ③基本的な文法を用いて、文を作成できるようにする。 ④中国語でコミュニケーションをとれるようになる。				
授業の方法				
発音・会話・短文作りを反復して練習する。テキストの内容を聞き、読み、暗唱することにより、発音（特に声調）を身につける。DVD等を使用して中国文化を紹介する。				
学習の成果（学習成果）				
①中国の一般市民の日常的な会話が理解できる。 ②きれいな発音ができる。 ③基本的な文法を用いて、文を作成ができる。 ④中国語で会話ができる。				
授業のスケジュールと内容				
第1回目	ガイダンス：注意事項、授業の流れ説明			
第2回目	単語練習（中国語Ⅰの復習を兼ねて、最後に単語小テストを行う）			
第3回目	リスニング練習（リスニングの内容、質問について答える）			
第4回目	グループ会話①			
第5回目	グループ会話②			
第6回目	グループ会話③			

第7回目	語句、短作文練習①	
第8回目	語句、短作文練習②	
第9回目	語句、短作文練習③	
第10回目	語句、短作文練習④	
第11回目	短作文作成、発表	
第12回目	DVD鑑賞	
第13回目	DVD鑑賞感想発表	
第14回目	3分スピーチ試験準備	
第15回目	3分スピーチ試験	
事前・事後学習	予習、復習を行う。上手に発音を行うには声を出して練習する。わからないものはまず自分で一度調べる。	
成績評価の方法と基準		
評価の領域	割合	評価の基準
授業参加態度	20%	授業に積極的に取り組み、必要なことはノートに記入している。
レポート		
調査報告書		
小テスト		
試験	50%	期末試験の成績によって判断する。
発表内容（態度含む）	30%	授業内で自己紹介等を含めた内容で3分間お話をを行う。質疑応答2分間（中国語で答える）
その他		
教科書と参考図書		
授業中プリント配布		
履修上の留意点・ルール		
●実務経験（なし） 遅刻厳禁。 授業中中国語で会話するよう意識する。		